

一般社団法人高槻青年会議所

50周年から55周年に向けての提言書

高度経済成長期の人口流入者の高齢化によるつぼ型のピラミッド構造となっている高槻・島本は、今後も活力ある地域社会を維持していくために、若い世代における定住促進への取り組みが必要とされています。

45周年から50周年では、「共育の実現」「地域自治への協力」「環境問題への啓発」「地域経済との関わり」「相互協力への姿勢」「安心・安全への取り組み」以上6つの項目を提言し、我々一般社団法人高槻青年会議所は様々な運動・活動をおこなってまいりました。

今後の5年は、より具体的に現在の地域ニーズにあった取り組みを実践するために「共育」「地域リーダーの育成」「安心安全への取り組み」「魅力あるまちづくり」と4項目を重点に置き、行政・市民・諸団体一体となり、活力ある地域社会の実現を目指します。

1. 共育への取り組み

少子化高齢化や生産年齢人口の減少が今後進む中で安心して子育てができる定住魅力の高いまちを実現するために、将来の担い手となる子どもたちが健やかな心身の育成から自分たちが住み暮らすまちのために行動できる人材育成への教育環境が必要です。

我々は、親・教師・学校など教育権を持つ主体だけでなく、学校、家庭、地域社会とともに多様な立場や領域の人や組織が連携して教育を担い、教育・養育・指導を行う側と受ける側がともに学び成長する「共育」の機会を追求いたします。

2. 地域リーダー育成への取り組み

我々が住み暮らすまちの地域の魅力の向上を図るためには、自ら協働して取り組む「より良いまちづくり」を進めていくことのできる地域リーダーの育成が必要です。

我々は、行政・市民・諸団体の方とともに地域自治への意識を高めることができる機会を提供することにより、活動を通じて実践的なスキルを身につけてゆき、積極的かつ主体的にまちづくりのために行動できる、豊かな人間性を備えた

人材を育成いたします。

3. 安全安心への取り組み

定住促進において地域における自助力および共助力をより一層高め、公助の際には、各機関が円滑に活動できる連携体制の強化が必要とされています。

我々は、誰もが住みたくなる安心安全なまちを実現するために、安心安全への取り組みに対する意識を高めることができる機会を提供し、青年会議所のネットワークを活用した新たな防災ネットワークや取り組みを地域コミュニティや各種団体とともに構築します。

4. 時代にあったまちへの取り組み

我々の住み暮らすまちの活力を向上するためには、まちの都市機能、都市の魅力を最大限に発揮できる都市としての経済機能の強化が必要です。

高い交通利便性や生活利便性、良質な住環境、豊かな自然、数多くの歴史遺産などの生活文化都市としての素晴らしい魅力を多く発信することとあわせてまちの活力を維持し、まちの変化に合わせた産業の活性化や雇用の創出につながる取り組みを国内外の青年会議所のネットワーク・行政・市民・諸団体と連携を行い、地域社会の活力向上を目指した取り組みをおこないます。